

町田市自殺対策計画事業進捗シート【関連事業（地域）】

● 法律相談事業関係

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容	2023年度の取組(中間報告)
関連-地域-1-⑯	総合相談会・法律相談窓口	総合相談会や法律相談窓口を実施しています。また、法律相談を通し、弁護士会と町田市の連携強化を図ります。	2022年度の取組を継続	<p>総合相談会(9月)の実施や、市民相談室で法律相談窓口を行っている。</p> <p>市民法律相談は昨年度に比べて特に変化はない。深刻な相談は特にないのが現状である。</p> <p>男性の相談が、平日の日中は以前は少なかったが近年は多くなっている傾向がある。</p>

● 北里大学医学部精神科学

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容	2023年度の取組(中間報告)
関連-地域-2-⑬	学生指導に関する喫緊の課題に関する研究会	自殺予防は大学における喫緊の課題である一方で、自殺に至る背景は複雑であり、自殺予防対策を講じても防ぎきれないことがあります。自殺しようとする人は援助要請行動が乏しいと言われており、また、学生相談室や精神科医療にかかっているだけで大丈夫という保障はありません。全学的に体制を整えながら継続的に考え取り組んでいくことが重要であり、大学教職員に対して自殺予防に関する研究会を実施しています。	2022年度の取り組みを継続。ゲートキーパー養成を「死にたいという気持ちを打ち明けられたときにどうするか」の研修として実施。	教員に対しての、大学での自殺予防に関する研修を、学生相談室と協力して行っている。北里大学病院として、救急センターに来た自殺未遂者が円滑に精神科に繋がるように体制を整えている。また、病院では、ゲートキーパー養成を「死にたいという気持ちをうちあけられたときにどうするか」の院内研修をオンラインで行っている。

● 特定非営利活動法人全国自死遺族総合支援センター

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容	2023年度の取組(中間報告)
関連-地域-1-⑮	遺族支援事業	<p>自死・自殺で大切な人を亡くした人が、偏見にさらされることなく悲しみと向き合い、必要かつ適切な支援を受けながら、その人らしい生き方を再構築できるように、総合的な遺族支援の拡充を図り、誰にとっても生き心地のよい社会の実現に寄与することを目的とし、講演会やわかちあいの会、社会保険労務士や弁護士等の専門家への相談会を実施しています。</p>	<p>2022年度と同様に、偶数月の第1日曜日に開催予定。</p>	<p>くわかちあいの会『まちだ』ゆっくりカフェの参加者者数> 4月:6名、6月:6名、8月:8名 10月:13名</p> <p>参加者は市内60%・市外40%となっている。昨年度に比べ、いずれの回も参加者が増えており、会が認知されてきているのとともに、継続参加する方にとって日常から離れることのできる貴重な居場所にもなっている。 毎回参加する方や時々参加する方もいるが、ほぼ毎回新規の参加者がいる状況である。</p>

● 特定非営利活動法人東京多摩いのちの電話

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容	2023年度の取組(中間報告)
関連-地域-1-⑰	電話相談	<p>変化の激しい現代社会において、困ったり不安になったりしたときに、誰にも相談できずにいる人が数多くいる中で、電話で話すことにより、再び生きる勇気を見出していられるよう、よき隣人であることを願いながら、無償ボランティア相談員が電話相談を受けています。また弁護士による法律相談も受け続けています。</p>	<p>2022年度の取り組みを継続する。 3年間実施してこなかった、普及・啓発事業(講演会・講座等)の再開を検討している。また、ホームページの刷新、広報活動の充実により、自殺予防の取り組みと、電話相談の周知を図る。</p>	<p>普及啓発事業の再開を検討中。また、ホームページの刷新に向けて作業中。</p>

● 八王子労働基準監督署町田支署

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容	2023年度の取組(中間報告)
関連-地域-1-⑪	自殺対策に関連する取り組み	働き方改革の主要施策が長時間労働の削減と過重労働防止であり、それに対応して、メンタルヘルス対策を推進しています。各事業場に対し、心の健康づくり計画作成等について啓発指導を行います。また、2015年12月から義務づけられたストレスチェック制度の周知を行います。	2022年度の取組を継続	通常業務として過重労働による健康障害防止、労働時間の適正な管理、ストレスチェックの実施等について指導を行った。全国労働衛生週間の準備期間である9月に開催された説明会において、過重労働による健康障害防止やメンタルヘルス対策について企業担当者に講義をし周知を図った。
関連-地域-2-⑪	ワーク・ライフバランスの推進	長時間労働の抑制、年次有給休暇の取得促進、労働時間等の設定改善による業務の見直しにより、ワーク・ライフバランスを実現します。	2022年度の取組を継続	ワークライフバランスの実現に向けて、2023年9月末までに企業担当者に対しての講習会を6回実施した。
関連-地域-2-⑫	講習会やイベント開催への講師派遣	労働基準行政の取り組みについて理解・周知を図るため、各団体の会員の方、取り組みを考えておられる対象の方について、講習会やイベント開催への講師派遣を行っています。	2022年度の取組を継続	例年講習会を実施している都立高校からの要望を受け、12月に講習会を実施する予定。2023年上半期は実施なし。

● 町田公共職業安定所

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容	2023年度の取組(中間報告)
関連-地域-1-⑬	失業対策事業	<p>失業者(転職希望者を含む)に対する職業相談、職業紹介を雇用保険制度、求職者支援制度を一体的に行います。また、専門家である精神保健福祉士を配置し、主に精神障がい者に対し就職活動の不安軽減のためのカウンセリング等を行います。</p>	<p>○就職面接会の開催 ○就職活動に関するセミナー、イベント等の実施 ○ひとり親全力応援キャンペーンの実施(市との連携) ○障がい者を対象とした就職準備セミナーの開催</p>	<p>・毎月1回「介護・福祉相談面接会」開催の他、随時ミニ面接会を開催。12月に町田市(経済観光部産業政策課)及び町田商工会議所と共催で合同就職面接会(20社程度参加予定)を開催予定。 ・7月と9月、10月に町田市男女平等推進センターと連携し「女性のための就職準備セミナー」開催。令和6年1月、2月開催予定。 ・町田市子ども生活部子ども家庭支援センターの協力を得て、8月に「ひとり親全力サポートキャンペーン」実施(計12名相談)。 ・「障がい者を対象とした就職準備セミナー」を5月～7月の3日間で第1回を開催。第2回を11月～1月の3日間で開催予定。</p>
関連-地域-1-⑭	生活保護受給者等就労自立促進事業	<p>生活保護受給者等に対し、ハローワークと福祉事務所等地方公共団体が一体となったきめ細やかな就労支援を行うことにより、就労による自立を促進します。町田市の生活保護担当部署とも連携し、取り組んでいます。また、町田市役所の一角にて「就労サポートまちだ」という窓口を開設しています。</p>	<p>2022年度の取組を継続するとともに、市との情報共有、連携を図る。</p>	<p>・継続して実施。</p>

● 町田警察署

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容	2023年度の取組(中間報告)
関連-地域-1-⑩	自殺対策に関連する取り組み	<p>個人の生命、身体の保護については、警察の責務として日々活動しています。自殺に関しては、通常業務を通じて情報収集を行っています。身近な困りごとについては生活安全課にて相談に応じ、生活相談で自殺に関する相談も受けています。精神保健福祉法に基づき、自傷他害のおそれのある場合には、保健所へ通報するなど連携しています。</p>	2022年度の取組を継続	<p>令和5年1月1日から同年6月30日までの間、町田市内における自殺者数34名、自殺未遂者数65名であり、自殺未遂者を取り扱った場合には、身体の安全を確保することを最優先とし、精神保健福祉法に基づく第23条通報を行うとともに、これにあたらぬ場合は、家族等と相談のうえ医療措置に繋げている。</p> <p>引き続き、警察においても関係機関や民間の事業者の方々と緊密に連携を図りながら自殺対策を推進してまいります。</p>

● 南大沢警察署

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容	2023年度の取組(中間報告)
関連-地域-1-⑩	自殺対策に関する取り組み	<p>個人の生命、身体の保護については、警察の責務として日々活動しています。自殺に関しては、通常業務を通じて情報収集を行っています。身近な困りごとについては生活安全課にて相談に応じ、生活相談で自殺に関する相談も受けています。精神保健福祉法に基づき、自傷他害のおそれのある場合には、保健所へ通報するなど連携しています。</p>	2022年度の取組を継続	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺未遂等自殺関連の通報を受理した際は速やかに臨場して自殺企図者を保護し、安全を確保した上で親族等適切な保護者に引き渡している。 ・精神錯乱による自傷他害の恐れが認められる場合は、精神保健福祉法に基づく23条通報を行うなどして、保健所、医療機関と連携をとろうとしている。 ・自殺企図者の行方不明事案に対しては、特異行方不明者として組織的に対応し、可能な限りの発見活動を速やかに実施して保護者又は医療機関等に引き継ぐなどしている。 <p>このような活動には関係機関や民間企業の協力が不可欠であることから、今後も強固な協力関係を構築し、可及的速やかな発見、保護活動をしていきたい。</p>

● 町田消防署

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容	2023年度の取組(中間報告)
関連-地域-1-⑨	救急対応	<p>東京消防庁では、精神疾患のある傷病者に対する救急対応の際に、救急隊長の判断により東京都保健医療情報センターひまわりに連絡し、本人承諾のもと、傷病者本人とセンターとで直接電話で対話できるよう働きかけています。また、救急の現場において患者の状況等に応じ、警察、高齢者福祉課、障がい福祉課等、関連機関と連携し、その後のフォローにつなげていくようにしています。</p>	2022年度の取組を継続	<p>令和5年1月から6月の自殺に関する救急要請件数は計87件で、そのうち病院に搬送された人数は61名でした。前年の同期間の病院搬送件数は70名であり、9名減少となりました。</p> <p>搬送されなかった26件の内訳は、社会死(社会通念上死亡と判断されるもの)が16件、搬送辞退(患者本人が病院搬送を辞退したもの)が8件、その他現場にいた医師に引き継いだものが2件でした。</p> <p>搬送された61名の年代別の内訳は、20代が23名と一番多く、続いて10代が12名と、若年層が多い傾向が見られました。昨年同時期と比較しても、やはり20代が19名と一番多く、続いて10代が12名と若年層に自殺事故が多い傾向が続いております。</p> <p>20代の自殺事故の発見経緯(知り得た経緯)は、本人が何らかの形で周囲に助けを求めたものが9名、家族が自殺事故発生を知り得たものが4名であり、前年度の取組内容と同様に、周囲にいる家族等が自殺のサインを見逃さず、見守っていくことが重要と考えられました。</p>

● 町田市民生委員児童委員協議会

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容	2023年度の取組(中間報告)
関連-地域-1-⑫	見守り活動	70歳以上の単身者、75歳以上の高齢者を訪問しています(2018年度時点)。また、児童相談所、子ども家庭支援センターと協力し、子どもの見守りを実施しています。生活保護者の家庭に訪問し、その家庭状況を確認し、把握に努めています。	2022年度の取組を継続	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者見守り訪問について、個々の事情に応じ、チラシ等を対面または非対面形式(ポスティング)で配布しています。 ・生活保護受給世帯への訪問についても、個々の事情に応じ、福祉だよりを対面または非対面形式(ポスティング)で配布しています。 ・児童相談所、子ども家庭支援センターと協力し、子どもの見守りを実施しています。 ・高齢者の見守り活動、生活保護者の見守りはできるだけ対面で行うようにしたいと思っている。子どもの見守りも要請があれば学校と協力して実施している。 ・自殺をほのめかす相談があったら、できるだけ傾聴するように心がけている。

● 一般社団法人町田市医師会

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の実施内容	2023年度の実施（中間報告）
関連-地域-1-⑱	かかりつけ医と精神科医の連携促進事業	東京都の事業として講演を行っています。学術講演においても、うつ病の講演を取り上げています。	うつ病/自殺の会員向け講演会を複数開催	<p>検討中</p> <p>ここ数年講演はオンラインで開催しているが、活発な論議が難しい。医師会としても新型コロナウイルス感染症対応に追われていたのがやっと通常に戻りつつある状況で、今後内科と精神科との連携を検討していきたい。受診が必要だが予約がとれないという状況をなくしていくことが課題である。</p>

● 公益社団法人東京都町田市歯科医師会

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の実施内容	2023年度の実施(中間報告)
関連-地域-1-⑦	障がい者歯科診療事業	初診患者の中で精神疾患を持つ患者が増加しており、これらの患者診療に際し日常生活の悩み・心配等を配慮し、より密接なコミュニケーションを確立します。	検討中	検討中
関連-地域-1-⑧	歯科医師会会員への講演会事業	障がい者歯科診療を通じての会員への学術講演会や、精神疾患を持つ患者への不安軽減のためのカウンセリング等を行います。	未定	発達障がいに関して、ご家族が心配、精神的に不安を感じているケースが増えているように思われる。直接的にはないが、講演会を通じて理解を深めていきたい。

● 一般社団法人町田市薬剤師会

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容	2023年度の取組(中間報告)
関連-地域-1-⑥	関係機関の相談・紹介	薬局に薬を受け取りにきた方へ医療関係の相談、紹介を行っています。健康相談として利用し、不眠や不安等が続く方には受診勧奨をしています。	2022年度の取組を継続する。多重受診者または偽造処方箋使用者と疑われる際は、会員内、医師会、保健所との情報共有を行い、対応を行っていく。	多重受診者または偽造処方箋使用者と疑われる際は、会員内、医師会、保健所との情報共有を行っている 今年度は2件報告あり。
関連-地域-2-②	ブース出展や薬物乱用防止教室の実施	毎年、総合健康づくりフェアへのブース出展や学校薬剤師として小中学校の児童生徒を対象に薬物乱用防止教室を実施しています。	2022年度の取組を継続	町田市総合健康づくり月間への参加。 ・子ども薬剤師体験 11月3日予定(子どもセンターつるっこにて) ・お薬相談 未定 市内小中学校で薬物乱用防止教室の実施予定。

● 社会福祉法人町田市社会福祉協議会

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容	2023年度の取組(中間報告)
関連-地域-1-①	安心生活創造推進事業(成年後見制度推進・福祉法律相談)	虐待事案において、被虐待者を守るため成年後見人等の支援者を決定し、弁護士による相談を実施します。	2022年度の取組を継続	引き続き、毎月第3火曜日の午後を実施している。1回4件まで受け付けている。2023年度の実績は8月末時点で5回実施、相談件数は14件となっている。
関連-地域-1-②	日常生活自立支援事業	消費者被害等の経済問題、ソーシャルサポートが欠如している方への支援を行います。	2022年度の取組を継続	2022年度に引き続き定期的な支援を実施している。2023年8月末時点での利用者は120人となっている。
関連-地域-1-③	生活福祉資金等貸付事業	低所得世帯や障がい者、要介護高齢者のいる世帯に対する資金貸付と相談支援を行います。	2022年度の取組を継続	2022年度に引き続き実施している。食に困窮している借受人に向けて食材提供の支援を実施するごはんてメール事業は、8月末時点で3回実施、279件に配付を行った。
関連-地域-1-④	心配ごと相談	日常生活における心配ごとや悩みごとに、心配ごと相談員が電話で相談に応じます。	2022年度の取組を継続	継続中、2023年8月末時点で28件の電話相談対応を行っている。
関連-地域-1-⑤	受験生チャレンジ支援貸付事業	低所得世帯で進学を希望している子どもへの支援を目的に、学習塾等の受講料、高校・大学等の受験料について、無利子で貸し付けを行う事業です。	2022年度の取組を継続	継続中、2023年8月末時点で相談件数436件、貸付件数16件の貸付決定に至った。
関連-地域-2-①	ここなび(こころのナビゲーション)	子どもパソコン相談であり、小学生から高校生までの悩みごとに答えるホームページです。「友だち」「家族」「学校」「性・からだ」「自分自身・性格」「恋愛」から質問と答えを閲覧でき、自分の相談を送ることも可能です。相談に対する回答の掲載を継続します。	2022年度の取組を継続	継続中、2023年8月末時点で「ここなび」のアクセス数は、総アクセス数277,943件でした。

● 町田商工会議所

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容	2023年度の取組(中間報告)
関連-地域-2-⑨	ストレスチェックの啓発活動	従業員50人未満の中小企業の方に対し、市内の中小企業向けの健康診断を実施し、その中で、ストレスチェックを受けてもらうよう啓発活動を行います。	2022年度の取組を継続	毎年2回実施しております。中小企業の方に対し健康診断、特に心身の健康を第一にストレスチェックの啓発・セミナーの開催を重点に行っております。
関連-地域-2-⑩	セミナーの開催	メンタルヘルス関係、労務関係の経営者向け、従業員向けのセミナーを開催します	2022年度の取組を継続	検討中

● 町田市町内会自治会連合会

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容	2023年度の取組(中間報告)
関連-地域-3-①	町田市各地区協議会における総合相談会	各地区協議会で、町内会・自治会・民生児童委員・青少年健全育成委員が連携し、各種相談事案から対象者の発見に努める事業を企画しています。	2022年度の取組を継続	健康推進課作成のゲートキーパー普及ポスターや総合相談会チラシを掲示板に掲示し、周知を行っている。コロナ禍を経て直接的な人間関係が希薄になり、地域の見守りが難しいことが課題である。

● 町田市立小学校

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容	2023年度の取組(中間報告)
主な取組2-(3)-②	【新】SOSの出し方に関する教育の推進事業 (学校教育部指導課)	授業においてSOSの出し方に関する教育を1時間、教育課程に位置付けます。	2022年度の取り組みを継続。	(小学校) 実施
関連-地域-2-③	心のアンケート	いじめ防止のためのアンケートを、小中学校全校で月に一度行っています。必要に応じて担任が聞き取り、スクールカウンセラーにつないでいます。	2022年度の取り組みを継続。	(小学校) 実施
関連-地域-2-④	子どもたちの見守り活動	登校時のあいさつ運動や10分休みや昼休みの時間の見守り、部活動の顧問による下校指導を行い、子どもたちの変化に少しでも早く気づくよう取り組んでいます。子どもの状態によって、その様子を担任に伝え、気になる場合は家庭に連絡します。	2022年度の取り組みを継続。	(小学校) 実施
関連-地域-2-⑤	相談機関の一覧表配布	町田市教育委員会指導課から配布された相談機関の一覧表を全校配布しました。学校だよりの裏面に印刷し、子どもたちだけでなく、保護者にも情報が届くようにしました。	2022年度の取り組みを継続。	(小学校) 実施
関連-地域-2-⑦	校内委員会	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと連携し、児童・生徒の生活の様子等について確認し、どう児童生徒を支援していくかの話し合いを行っています。児童生徒の状況によっては、児童相談所、教育相談所、警察署、子ども家庭支援センター等とも連携を取り合っています。	2022年度の取り組みを継続。	(小学校) 実施
関連-地域-2-⑧	生活指導集会	生活指導集会に取り組み、気になる児童の様子等を話し合いの場に出して、情報交換をしています。	2022年度の取り組みを継続。	(小学校) 実施

● 町田市立中学校

町田市自殺対策計画の事業番号	取り組み事業	内容	2023年度の取組内容	2023年度の取組(中間報告)
主な取組2-(3)-②	【新】SOSの出し方に関する教育の推進事業 (学校教育部指導課)	授業においてSOSの出し方に関する教育を1時間、教育課程に位置付けます。	2022年度の取り組みを継続。	(中学校) 長期休業前等に、DVD等を活用しながら「SOSの出し方に関する教育」を行い、関係連絡諸機関の紹介をしている。
関連-地域-2-③	心のアンケート	いじめ防止のためのアンケートを、小中学校全校で月に一度行っています。必要に応じて担任が聞き取り、スクールカウンセラーにつないでいます。	2022年度の取り組みを継続。	(中学校) 市内全中学校で毎月末に実施している。アンケート結果をいじめ対応チームで確認し、いじめの早期発見・早期対応に努めている。
関連-地域-2-④	子どもたちの見守り活動	登校時のあいさつ運動や10分休みや昼休みの時間の見守り、部活動の顧問による下校指導を行い、子どもたちの変化に少しでも早く気づくよう取り組んでいます。子どもの状態によって、その様子を担任に伝え、気になる場合は家庭に連絡します。	2022年度の取り組みを継続。	(中学校) 各校で工夫しながら、あいさつ運動、昼休みや下校時の見守りを行っている。Chromebookの「不適切ワード検知機能」により、死に関連する言葉を検索した生徒を検出できるようになっている。
関連-地域-2-⑤	相談機関の一覧表配布	町田市教育委員会指導課から配布された相談機関の一覧表を全校配布しました。学校だよりの裏面に印刷し、子どもたちだけでなく、保護者にも情報が届くようにしました。	2022年度の取り組みを継続。	(中学校) 市内全中学校で、東京都教育委員会が作成した相談機関の一覧表を配布した。(年度初め、長期休業前)
関連-地域-2-⑦	校内委員会	スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと連携し、児童・生徒の生活の様子等について確認し、どう児童生徒を支援していくかの話し合いを行っています。児童生徒の状況によっては、児童相談所、教育相談所、警察署、子ども家庭支援センター等とも連携を取り合っています。	2022年度の取り組みを継続。	(中学校) 市内全中学校で、毎月実施している。スクールソーシャルワーカーによる学校巡回を通して、各校の生徒情報を共有し、必要な支援について協議している。
関連-地域-2-⑧	生活指導集会	生活指導集会に取り組み、気になる児童の様子等を話し合いの場に出して、情報交換をしています。	2022年度の取り組みを継続。	(中学校) 市内全中学校で、毎週実施している。年度当初に各学級の生徒情報を共有し、その後も気になる生徒についての情報交換と支援方法について確認している。